

令和6年度 学校関係者評価報告書

大阪市立加島小学校協議会

1 総括についての評価

・今年度、残念ながら目標を達成できなかったものもあったが、学校が常に子どもたちのために様々な教育活動に取り組んだことは評価できる。学力向上に向けての、2年生以上の漢検受験や学力の時間の取り組みなど、今後も継続してもらいたい。また、体力においては、結果は全国平均には及ばなかったものの粘り強さも見られ、子どもたちの頑張りがうかがえた。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

○令和6年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、82%以上にする。

○「学校から帰ってから、スマートフォン等を利用して、平均どのくらい SNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか」に対して、3時間以上と回答する児童の割合を30%以下とする。

年度目標：【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

○令和6年度の全国学力・学習状況調査における学力に課題の見られる児童の割合（%）を国語科、算数科ともに30%以下とする。

○令和6年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査の体力合計点の対全国の平均値を、上回る割合(1.00)以上を継続する。

年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

○授業日において児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の40%以上とする。

・「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は84.7%であり目標の82%を上回り、目標を達成することができた。引き続き、学校行事をはじめとした様々な取り組みを充実させ、学校の魅力を発信してほしい。

・令和6年度の全国学力・学習状況調査の平均正答率は、国語が57.0%、算数が57.0%であり、令和5年度の国語51.0%・算数43.0%を上回ることができた。しかしながら、大阪市や全国の平均に比べると低くなっている。学力向上の取り組みを進め、学力の底上げをしてほしい。

・令和6年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査の体力合計点の対全国比の割合（T得点）は、男子が48.68点、女子が53.26点であった。握力・20mシャトルラン・立ち幅跳びでは大きく全国比を超え、粘り強さを見せたが、残念ながら目標は達成できなかった。課題を克服し体力向上に努めてもらいたい。

・8割以上が学習者用端末を活用した日数が74.1%で目標を大きく上回っている。さらに活用を進めてほしい。

3 今後の学校運営についての意見

・学校は、様々な良い取り組みを進めていることを理解した。特に天声人語の書き写しに取り組むことで、文章を書く力や要約力が向上しているようだ。是非今後も取り組みを続けていただくようお願いしたい。また、学力向上には読書が欠かせない。子どもたちに読書習慣をつけるために、保護者への啓発も行っていったらどうか。保護者、地域と連携しながらこれからも子どもたちのために頑張ってもらいたい。